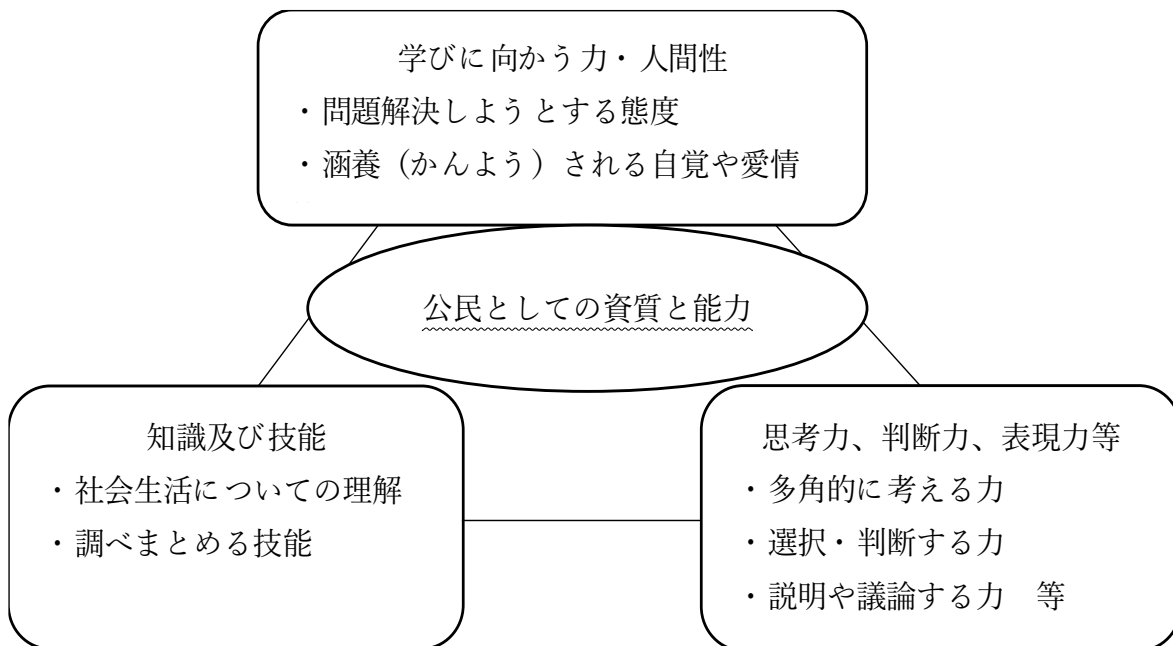


令和6年度 社会科 学習の手引き

1 社会科で身に付けたい力

中学校の社会では、「過去の成功や失敗（歴史）」を学び、「地域や国同士のつながり（地理）」を学び、「現在の世の中の仕組み（公民）」を学びます。そして、3年間で「歴史」「地理」「公民」の3分野を学ぶことで、「公民としての資質と能力」を身に付けてもらいたいと考えています。



2 学校での学習の進め方の例

① 家庭学習で、予習を行います。

- ・授業についてあらかじめ学習しておくことは、社会科の授業では、とても大切です。

② 授業の課題を確認します。

例) 織田信長と豊臣秀吉は、どのようにして全国統一を進めたのでしょうか。



例) 日本はどのような都道府県に分けられ、どこに都道府県庁が置かれているのでしょうか。

③ 課題について考えたり、話し合ったりします。

④ 授業の振り返りを自己評価カードに記入します。

3 ノート・ワークシートのまとめ方の例

予習ページ	授業ページ
<ul style="list-style-type: none">家庭学習で教科書などを参考に各自で予習を行う。授業の最初に担当がチェックをする。色を使ったり、図を書いたり各自のオリジナルのノートを作成しましょう。	<ul style="list-style-type: none">授業の板書やプリントを貼りましょう。授業内での話し合いのメモや結果、自分の意見を書きましょう。先生の話や友達の意見をメモしましょう。



4 家庭学習の進め方の例

- ① 教科書を読みます。
音読の必要はありませんが、わからない言葉や単語を調べてみましょう。
- ② ノートの予習ページを作成します。
重要なポイントを自分で読み取り、まとめてみましょう。
- ③ 分からなかった言葉を調べましょう。
それでも分からない時は、授業の時に先生に聞きましょう。

【授業後】

- ④ 各学年で購入する「ワーク・問題集」等を進めましょう。
テスト後に提出します。各自家庭で進めましょう。

【その他】

- ・ミライシードのドリルパークもオススメです。いろんな問題を解いてみましょう。



5 「社会科」成績の付け方の例

※詳細は授業時に説明します

資質・能力	評価の主な資料
<p>知識・技能</p> <p>「何を知っているか、何ができるか」という部分です。社会科で学ぶべき内容について、体系的に理解できていて、応用できる形で頭に入っていることが重視されます。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 定期テストの評価• 単元テスト• 自己評価の内容
<p>思考・判断・表現</p> <p>現代社会での「生きる力」の中でも特に重視されている問題解決能力に関する力といえます。問題を見つけたときに論理的に考えて解決まで導く力や、仲間と協力しながら問題に取り組むための表現力などの獲得を目標にします。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 定期テストの評価• 課題やレポートの内容• 話し合い活動における評価
<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>多様性を理解して、仲間と協力する力や、自分の感情をコントロールする力、優しさや、思いやりなどの豊かな人間性のベースとなる資質や力を伸ばすことに重点を置きます。そのために学習に主体的に臨むことが重要視されていることを意識していきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 定期テストの評価• ノートなどの提出物• 自己評価の記入と提出• 話し合い活動における評価